

和歌山県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所構内での クマゼミ（半翅目，セミ科）の2011年の遅鳴き

The latest droning of *Cryptotympana facialis* (Hemiptera, Cicadidae) in 2011
in the campus of the Seto Marine Biological Laboratory, Kyoto University
at Shirahama, Wakayama, Japan

久保田 信

はじめに

一般に、セミの分布を決定するのは気温ではなく地温だといわれている（日高，2010）。南日本に広く分布するが、ローカルに興味深い分布や生態を示すクマゼミ *Cryptotympana facialis*（半翅目，セミ科）は、普通は夏季の午前中に鳴く。今回、和歌山県西牟婁郡白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所構内で、複数個体が最盛期から2ヶ月を経過した11月の初旬まで鳴いた「遅鳴き」を報告する。

材料と方法

2011年9月中旬より11月初旬まで（実際は、その前後の期間も調査済み）、ほぼ毎日、早朝から（出張などにより全くあるいは午前中数時間しか調査できなかった日もある）クマゼミの鳴き声が聞こえた時間とその回数を、筆者の研究室（研究棟2階の東端に位置する）で毎分聞き取って記録した。その結果、9月26日から10月17日までの期間中10日と11月初旬の2日の計12日で比較的詳細なデータが得られたので報告する。

結果と考察

クマゼミは調査期間中、午前中あるいは正午をやや過ぎた時間帯しか鳴かなかった。ただし、最終記録の11月4日は、元氣なく抑揚のないわずか2回の鳴き方だったが遅く鳴いた。2011年9月29日の午前中に、今回の調査では最多数の鳴き声が聞き取れた（表1）。この日は2個体が同時に15回鳴いたが、鳴き声が同時に3回以上重なることはなかった。他の日の5日の計11回でも同様であったことから、この期間中に出現したのは、最多でも雄は2個体であると推察される（鳴けなかった雄もいるかもしれない）。

9月下旬からの調査は、毎日がクマゼミの遅鳴きの2011年のラスト日だと想定して記録し始めたが、遅鳴きは10月に入っても継続した。10月中旬には鳴く回数が減って、わずか数回1個体が鳴くのみとなり、10月17日で鳴き声はいったん中断した。1日のうちでの鳴き始めの時刻は、9月が7-8時からと早い、10月になると9-10時になってから鳴き始め（10月15日を除く）、次第に遅くなる傾向があった。それから半月ほど鳴き声を全く聴かなかったので、今年出現したクマゼミは全て死亡したと推定したが、予期に反して11月になって再び鳴き始め、1日は正午前後に限定されるが10回も鳴いた（表1）。鳴き声の状況からは、1個体の存在だと推察できた。

表1. クマゼミが遅鳴きした月日・時間・回数 (2011 年)

月日	鳴いた時間幅(分)とその時刻幅	鳴き声が聞こえた全回数 (内、2個体が1分間に同時に鳴いた回数)
9月26日	36 (8:01- 8:37)	29 (8)
9月28日	22 (7:37- 7:59)	6 (0)
9月29日	206 (7:57-11:23)	136 (15)
9月30日	120 (8:35-10:35)	43 (1)
10月 1日	38 (9:01- 9:39)	4 (0)
10月 3日	69 (9:17-10:16)	19 (1)
10月 5日	175 (9:21-12:16)	4 (1)
10月15日	105 (7:33- 9:18)	6 (0)
10月16日	51 (10:15-11:06)	4 (0)
10月17日	115 (10:33-12:18)	3 (0)
11月 1日	59 (11:15-12:14)	10 (0)
11月 4日	1 (13:52-13:53)	2 (0)

白浜町の海辺に面した京都大学瀬戸臨海実験所構内での今回のようなクマゼミの遅鳴きは、1997 年と1998 年に既に記録されている (久保田・田名瀬, 1999)。前回の記録では9月末や10月の中旬の遅鳴きであったが、今回の11月初旬の遅鳴きは異例のことで、これまでで最も遅い記録となった。今回は、最盛期を過ぎても長い期間、多数回鳴いた。恐らく雌もいて交尾しているのであろうが、その実態は不明である。なお気温だが、11月2日5時15分以前の一週間の最大と最小値は39.0℃と8.5℃であった (研究棟正面玄関左横のソテツの影の芝生の生えた地面に温度計を置く)。夜間のこれほどの低温でもクマゼミは耐えられると思われる。それ以後の11月4日14時37分までの気温の最大と最小値は31.0℃と16.0℃であった。

引用文献

久保田 信・田名瀬英朋, ¹⁹⁹⁹~~2002~~. クマゼミの遅鳴きの最近の記録. 南紀生物, 41(1): 64.
日高 敏隆. 2010. セミたちと温暖化, 317 頁, 新潮文庫, 東京.

(くぼた しん 〒649-2211 西牟婁郡白浜町臨海459 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所)